

建築工事施工計画報

東京都の様式とは条例に基づく様式が異なります
足立区の報告書様式をHPからダウンロード
(様式が変わっている可能性があります)

建築基準法第12条第5項の規定に基づき、下記のとおり建築工事施
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

(提出先)
足立区長

工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書が
整合しているか十分確認して記入してください

提出先を確認

代表となる工事監理者 住所 東京都足立区西新井〇-〇-〇〇 電話 03(〇〇〇〇)〇〇〇〇
会社名 株式会社〇〇設計事務所(一)級建築士事務所(東京都)登録第(〇〇〇〇)号
氏名 建築士亭 (一)級建築士(大臣)登録第(〇〇〇〇〇〇)号

工事施工者 住所 東京都足立区綾瀬〇-〇-〇〇 □□□ビル 電話 03(〇〇〇〇)〇〇〇〇
会社名 株式会社〇〇建設 足立支店 建設業の許可 大臣・東京都知事 特-3第(〇〇〇〇)号
氏名 取締役足立支店長 建物 建て太郎
(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
品質窓口責任者氏名 電話 ()

確認申請書又は工事監理者届、施工者届と一言一句合わせる

記 B方式(本社等の支援体制が組み込まれた品質管理)の場合は記入

(1) 工事現場	① 名称	(仮称)足立区足立七丁目ビル 新築工〇〇 〇〇事	A 棟	③ 工事の種類	新築・増築・改築
	② 所在地	足立区 中央本町〇丁目2-1、2-2、2-3 所在地は地名地番を記載			
(2) 建築主	氏名	〇〇(株)代表取締役 建物 建て太郎	法人の場合は役職+氏名	足立区梅真〇-〇-〇〇	電話03(〇〇〇〇)〇〇〇〇
(3) 設計者	氏名	建築士亭	所属会社	株式会社〇〇設計事務所	電話03(〇〇〇〇)〇〇〇〇
(4) 構造設計者	氏名	構造丈夫	所属会社	株式会社〇〇〇 構造設計事務所	電話03(〇〇〇〇)〇〇〇〇
(5) 現場代理人(所長)	氏名	安全工児	現場事務所	足立区中央本町〇-〇-〇〇 ※現場事務所の住所	電話03(〇〇〇〇)〇〇〇〇 ※携帯電話の番号等も可
(6) 品質管理責任者	氏名	元方 安子 監理技術者	所属会社	株式会社〇〇建設	電話 ()
(7) 階数	地上 5階・地下 階	塔屋 階	(8) 建築面積	〇〇〇.〇〇m ²	(9) 延べ面積 〇〇〇〇.〇〇m ²
(10) 高さ	軒高 〇〇.〇〇m 最高 〇〇.〇〇m		(11) 確認済証交付機関	株式会社〇〇〇〇〇〇〇	
(12) 確認・計画通知、年月日及び番号	〇〇〇〇年 〇月〇〇日		第〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇号		
(13) 計画変更・年月日及び番号	年 月 日		第 号(変更内容は別紙)		
(14) 構造計算の方法	(X) ルート1-()・ルート2-() (Y) ルート1-()・ルート2-()	・ルート3 ・ルート3	限界耐力計算・時刻歴応答解析 その他()		
(15) 構造	RC造・WRC造	1階から5階まで	(16) 使用部位	PCa・HP Ca	
	SRC造	階から 階まで		PC	
	S造	階から 階まで		CFT	
		階から 階まで			
(17) 認定材料	コンクリート	高強度コンクリート MCON-〇〇〇〇			※ 受付欄
	鋼材等	高強度せん断補強筋 〇〇〇〇-1275			
	免震・制振部材				
	その他				

- (注意) 1 ※印のある欄は、記入しないでください。
2 代表となる工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等が整合しているか十分確認して記入してください。

コンクリート使用材料及び施工													
基礎の種類		<input type="checkbox"/> 直接基礎 (<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> 柱基礎) <input checked="" type="checkbox"/> 杭基礎 <input type="checkbox"/> 打込み杭()、 <input type="checkbox"/> セメントミルク工法による埋込み杭、 <input type="checkbox"/> オールケーシング工法、 <input checked="" type="checkbox"/> アースドリル工法、 <input type="checkbox"/> リバーササーキュレーション工法、 <input checked="" type="checkbox"/> 拡底杭工法(<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工法)、 <input type="checkbox"/> その他()工法											
コンクリート 強度 (N/mm ²)	使用工法	在来			基準		<input type="checkbox"/> JASS5(2018年版) <input type="checkbox"/> その他()						
	使用部位	杭		基礎		1階~2階	2階~3階	4階~5階	階~階		階~階		
	設計基準強度	27		39		39	30	33					
	使用工法	2階立上り3階床を示す						3階立上り4階床を示す			グラウト		
	使用部位	階~階		階~階		階~階		階~階		階~階			
	設計基準強度												
塩害対策の有無		<input type="checkbox"/> 有(対策方法) <input checked="" type="checkbox"/> 無				アルカリ骨材対策			試験成績書(無害判定)確認				
設計かぶり厚さ (cm)	部位	柱		梁		床		耐力壁		非耐力壁		基礎・擁壁	
		屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内		
	土に接しない部分	3+2	3+1	3+2	3+1	2+2	2+1	3+2	3+1	2+2	2+1		
土に接する部分	4+1		4+1		特記仕様書、標準図のとおりに記載				4+1		6+1		
検査計画	検査担当者(工事施工者)氏名 元方 安子						工事監理者又は係員氏名		立会検査の有無		常駐非常駐		
	検査項目	打込前	<input type="checkbox"/> 試験 <input checked="" type="checkbox"/> 散水 <input checked="" type="checkbox"/> 配筋 <input checked="" type="checkbox"/> かぶり厚さ				建築 土朗		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 常・ <input type="checkbox"/> 非		
		打込中	<input checked="" type="checkbox"/> テストピース採取 <input checked="" type="checkbox"/> 打込速度・順序 <input checked="" type="checkbox"/> 締固め				建築 土朗		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 常・ <input type="checkbox"/> 非		
		打込後	<input checked="" type="checkbox"/> 養生方法 <input checked="" type="checkbox"/> 養生温度 <input checked="" type="checkbox"/> 打込欠陥				建築 土朗		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 常・ <input type="checkbox"/> 非		
	エア・スランブ試験等の代行業者名		採取試験会社名: <input checked="" type="checkbox"/> 検査(株) 採取登録番号: 採高強-〇〇-(XX)-△△号										
	供試体の養生場所		場所: (公財)〇〇〇〇〇〇センター〇〇試験室 品川区東大井〇〇-〇〇 養生方法: 標準養生 管理者氏名: 鉄筋コン太郎										
	構造体コンクリート試験機関名		36N/mm ² 以下の場合 (株)〇〇〇〇〇〇 都登録 第 試A-〇〇-(〇)-△△号 36N/mm ² 超の場合 〇〇〇〇〇〇(株) 都登録 第 試B-〇〇-(〇)-△△号										
打ち込み欠陥部の検査方法等		検査者: 元方 安子 検査箇所: 柱、梁、スラブ 検査方法: 目視等											
鉄筋使用材料及び施工													
使用鉄筋	種別	SD295		SD345		SD390		SD490		その他()			
	使用径	D10~D16		D19~D25		D29~D32		D ~D		D ~			
鉄筋確認項目	施工	継手種類		圧接継手		機械式継手		溶接継手		重ね継手(その他)			
		使用箇所		地中梁、柱、梁 主筋									
		継手工法名(溶接材料)											
		継手施工会社(優良圧接業者)		(株)〇〇〇〇(優)									
		S A 級継手											
		A 級継手		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無									
		技量確認・施工前試験		無									
	試験・検査	冷間直角カッターの使用		有									
		外観検査(%)		100									
		引張試験のみ(箇所/ロット)		5/1									
超音波探傷・測定検査(箇所/ロット又は%)		30箇所/ロット											
引張試験併用		有											
検査	引張試験機関名		検査機関の名称: 〇〇〇〇〇〇(株) 都登録 第 試B-〇〇-(〇)-△△号										
	非破壊検査機関名		検査機関の名称: 〇〇〇〇〇〇(株) 都登録 第 筋〇〇-(〇)-〇号 検査者 超音波探治朗 資格 3種-〇〇〇〇										
	外観検査実施者		工事監理者・工事施工者 検査機関 都登録 第 筋〇〇-(〇)-〇号 検査者 超音波探治朗 資格 3種-〇〇〇〇										
	補強方法		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 在来工法 <input checked="" type="checkbox"/> 既製品(〇〇〇〇〇〇) <input type="checkbox"/> 無										
梁貫通口補強	構造検討		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無										
	使用部位		基礎梁: 在来工法 大梁: 既製品(〇〇〇〇〇)										

コンクリートの設計及び仕様による条件

- 添付のコンクリート配合計画書によるため記載を省略
- 下記の内容による

番号	a 打込箇所	コンクリートの種類1 ※1	設計基準強度 (N/mm ²)	強度管理材齢 (日)	生工場名	セメントの種類	単位セメント量 (kg/m ³)	スランプスランプフロー (cm)
			品質基準強度 (N/mm ²)	養生方法		骨材の産地	水セメント比 (%)	混和剤の種類 ※6
枝番	c 適用期間	コンクリートの種類2 ※2	呼び強度 (調合管理強度)	判定基準強度 (N/mm ²) ※3	※4	コンクリート温度(°C) ※5	空気量 (%)	混和剤

コンクリート配合計画書を添付した場合は、「添付のコンクリート配合計画書によるため記載を省略」を選択すること。その場合、記載は省略することができる。
その2へ記入する場合は、生コン工場A～Cの順番に記入すること。
記入例のA～BまたはA～Cまでを添付の配合計画書による場合は、記載を省略するその2は1枚のみとすること。

(注意) ※1から※6までについては、その4を参照のこと。

コンクリートの設計及び仕様による条件

□添付のコンクリート配合計画書によるため記載を省略

■下記の内容による

番号	枝番	c 適用期間	コンクリートの種類 ※2	(N/mm ²) 呼び強度 (調合管理強度)	判定基準強度 (N/mm ²) ※3	※4	コンクリート 温度(℃) ※5	(%) 空気量 (%)	混和剤
<p>・地上3階建て、かつ延べ面積500㎡を超える建物(木造は除く)のみ。別棟法6条四号建築物は記載不要</p> <p>・捨てコン、スラブ、パラペット、防水押えコンは記載不要</p>									
1	杭	2022/2/25 ~3/3	普通	27	28	B	N	400	18
1		2/18~3/3	水中	30	30 (27+3)		栃木県、茨城県	43.5	高性能AE減水剤 標準形I種
<p>杭は適用期間内での打設期間</p>									
1	杭	2022/3/4~ 3/20	普通	27	28	B	-	4.5	○○○○○○○○S
2		3/4~6/15	水中	27					
<p>生コン工場Bの配合計画書のとおり記入 生コン工場を複数計画し、記載する場合はC,Dも全て記載</p>									
2	耐圧盤	2022/5/20 3/4~6/15	高強度	44	44 (39+5)	B	35℃以下	4.5	○○○○○○○○S
			普通	39	標準				
<p>コンクリート打設毎の箇所 コンクリートの打設予定日</p>									
3	地中梁	2022/6/10 3/4~6/15	普通	39	28	B	N	410	21
			高強度	44	44 (39+5)				
<p>35℃以下</p>									
4	1階床	2022/6/15 6/16~9/21	普通	39	28	B	N	420	21
			高強度	44	44 (39+5)				
<p>35℃以下</p>									
5	1階立上り~2階床	2022/7/30 6/16~9/21	普通	39	28	B	N	420	21
			高強度	46	46 (39+7)				
<p>コンクリートの打設毎の箇所・範囲</p>									
6	2階立上り~3階床	2022/9/10 6/16~9/14	普通	36	28	B	N	440	21
			暑中	39	標準				
<p>通常の時期でも暑中の配合であれば暑中と記入</p>									
7	3階立上り~4階床	2022/10/25 9/22~12/24	普通	36	28	B	N	390	21
			通常	39	39 (36+3)				
<p>生コン工場や打設箇所、打設時期により、使用する混和剤の種類や商品名が異なる場合があります</p>									
8	4階立上り~5階床	12/15 9/22~12/24	普通	36	28	B	-	4.5	○○○○○○○○S
			通常	39	39 (36+3)				
9	5階立上り~R階床	2022/1/30 12/25~2/17	普通	36	28	B	N	425	21
			通常	42	42 (36+6)				
<p>35℃以下</p>									

(注意) ※1から※6までについては、その4を参照のこと。

コンクリートの設計及び仕様による条件

□添付のコンクリート配合計画書によるため記載を省略

■下記の内容による

番号	a 打込箇所 b 打設期間	コンクリートの種類1 ※1	設計基準	(N/mm ²)※3	呼び	温度(°C)※5	(%)	配合剤
			(N/mm ²)※3					
1	杭 2022/2/25 ~3/3	普通	27	28	C	栃木県、茨城県	43.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			27	標準				
1	2/18~3/3	水中	30	30 (27+3)		-	4.5	○○○○○○○○○S
1	杭 2022/3/4~ 3/20	普通	27	28	C	栃木県、茨城県	45.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			27	標準				
2	3/4~6/15	水中	30	30 (27+3)		-	4.5	○○○○○○○○○S
2	耐圧盤 2022/5/20 3/4~6/15	普通	39	28	C	栃木県、茨城県	41.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			39	標準				
		高強度	44	44 (39+5)		3 5 °C以下	4.5	○○○○○○○○○S
3	地中梁 2022/6/10 3/4~6/15	普通	39	28	C	栃木県、茨城県	41.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			39	標準				
		高強度	44	44 (39+5)		3 5 °C以下	4.5	○○○○○○○○○S
4	1階床 2022/6/15 6/16~9/21	普通	39	28	C	栃木県、茨城県	41.5	高性能AE減水剤 遅延形I種
			39	標準				
		高強度	44	44 (39+5)		3 5 °C以下	4.5	○○○○○○○○○R
5	1階立上り~2階 床 2022/7/30 6/16~9/2 1	普通	39	28	C	栃木県、茨城県	41.5	高性能AE減水剤 遅延形I種
			39	標準				
		高強度	46	46 (39+7)		3 5 °C以下	4.5	○○○○○○○○○R
6	2階立上り ~3階床 2022/9/10 6/16~9/14	普通	36	28	C	栃木県、茨城県	39.8	高性能AE減水剤 遅延形I種
			36	標準				
		暑中	42	42 (36+6)		3 5 °C以下	4.5	○○○○○○○○○R
7	3階立上り ~4階床 2022/10/25 9/22~12/24	普通	36	28	C	栃木県、茨城県	45.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			36	標準				
		通常	39	39 (36+3)		-	4.5	○○○○○○○○○S
8	4階立上り ~5階床 12/15 9/22~12/24	普通	36	28	C	栃木県、茨城県	45.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			36	標準				
		通常	39	39 (36+3)		-	4.5	○○○○○○○○○S
9	5階立上り ~R階床 2022/1/30 12/25~2/17	普通	36	28	C	栃木県、茨城県	41.5	高性能AE減水剤 標準形I種
			36	標準				
		通常	42	42 (36+6)		-	4.5	○○○○○○○○○S

生コン工場Cの記入例を記載していますが、実際に計画している生コン工場は全て記載するか、配合計画書を添付してください。記載する場合は必ず配合計画書どおりに記載してください。

(注意) ※1から※6までについては、その4を参照のこと。

コンクリート試験計画及び鉄筋試験計画一覧									
番号	打込箇所	打込予定年月日 (年月日)	コンクリート 圧縮試験回数 ※7	生コン 工場名 ※4	番号	鉄筋接合箇所 (継手種類)	継手予定年月日 (年月日)	鉄筋引張 試験回数 ※9	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)
枝番		打込予定数量 (m ³)	うち防災センター 試験回数	圧送計画 ※8	支保		継手予定数量	うち防災センター 試験回数	うち引張試験併用 ロット(箇所/ロット)
1	杭	2022.2/25~ 3/3	5 (※杭1本につき1回)	A B C	1	地中梁 (ガス圧接継手)	2022/5/10, 5/25,6/9	3	試験回数は日数、 班に応じた回数
1		500					250		
1	杭	2022.3/4~ 3/20	6	A B C	2	1階柱 (ガス圧接継手)	2022/6/25		30箇所/1ロット
2		600					180		1ロット(3箇所/ロット)
2	耐圧盤	2022/5/20	3	A B C	3	2階梁 (ガス圧接継手)	2022/7/20	2	
		700		a b c			270		
3	地中梁	2022/6/10	2	A B C	4	2階柱 (ガス圧接継手)	2022/8/10		30箇所/1ロット
		500		a b c			180		1ロット(3箇所/ロット)
4	1階床	2022/6/20	1	A B C	5	3階梁 (ガス圧接継手)	2022/9/1	2	
		60		a b c			260		
5	1階立上り ~2階床	2022/7/30	1	A B C	6	3階柱 (ガス圧接継手)	2022/9/15		30箇所/1ロット
		280		a b c			170		1ロット(3箇所/ロット)
6	2階立上り ~3階床	2022/9/10	2	A B C	7	4階梁 (ガス圧接継手)	2022/10/16	2	
		280		a b c			260		
7	3階立上り ~4階床	2022/10/25	2	A B C	8	4階柱 (ガス圧接継手)	2022/10/28		30箇所/1ロット
		270		a b c			160		1ロット(3箇所/ロット)
8	4階立上り ~5階床	2022/12/15	2	A B C	9	5階梁 (ガス圧接継手)	2022/12/3	2	
		270		a b c			250		
9	5階立上り ~R階床	2023/1/30	2	A B C	10	5階柱 (ガス圧接継手)	2022/12/20		30箇所/1ロット
		250		a b c			150		1ロット(3箇所/ロット)
					11	R階梁 (ガス圧接継手)	2022/1/20	2	
							240		
番号、枝番、打込箇所 及び 打込予定年月日は その2 に合わせる									
単位を記入									
合計	打込予定数量		コンクリート圧縮試験回数	合計		継手予定数量	鉄筋引張試験回数	超音波探傷・測定検査	
	3710.00m ³		26回	2370箇所		13回	150箇所/5ロット		
		うち防災センター試験回数				うち引張試験併用			
						5ロット			
供試体試験 1回の試験のうち (告示第1102号)	28日 3本 7日 3本 28日 9本(高強度)	支柱早期除去用 部位(梁下・床下)		日本		PS導入用		日本	

(注意) 1 防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。
2 ※4及び※7から※9までについては、その4を参照のこと。

レディーミクストコンクリート工場一覧

A	工場名称	○○(株)△△工場	運搬時間 20分	B	工場名称	○○○○(株)XX工場	運搬時間 15分
	JIS表示許可番号	GB○○○○○○○			JIS表示許可番号	TC○○○○△△△	
	許可品目	普通、高強度			許可品目	普通、高強度	
	水の種類	地下水、上澄水			水の種類	上水道水、地下水	
C	工場名称	○○○○(株)	運搬時間 10分	D	工場名称		運搬時間
	JIS表示許可番号	GB○○○○○○○			JIS表示許可番号		
	許可品目	普通、高強度			許可品目		
	水の種類	地下水			水の種類		
E	工場名称		運搬時間	F	工場名称		運搬時間
	JIS表示許可番号				JIS表示許可番号		
	許可品目				許可品目		
	水の種類				水の種類		
G	工場名称		運搬時間	H	工場名称		運搬時間
	JIS表示許可番号				JIS表示許可番号		
	許可品目				許可品目		
	水				水		

配合計画書と合わせる

各ポンプ車の性能がわかるカタログを提出することで詳細な性能の記入を省略できる

コンクリート圧送ポンプ一覧 ※10

a	型番	○○100-○○△	b	型番	○○125-○○X
	性能	10cm 50m ³ /h 3.5N/mm ²		性能	12.5cm 100m ³ /h 5.5N/m
c	型番	添付のカタログのとおり	d	型番	
	性能	添付のカタログのとおり		性能	cm m ³ /h N/mm ²

- (※注意) 1 コンクリートの使用骨材による種類を記入する。
 2 コンクリートの使用材料・施工条件・要求性能などによる種類(通常、寒中、暑中、軽量、流動化、高流動、高強度、マスコン、プレストレスト、水中、水密)を記入する。
 3 高強度コンクリートの場合は、 $F_q + mS_n + 1.05\sigma$ のそれぞれの項の値を()内に別途記入する。
 4 生コン工場は第4号様式による記号で表示する。
 5 高強度・マスコン・暑中・寒中コンクリートについては、必ず記入する。
 6 混和剤の商品名及び種類(AE剤、減水剤、AE減水剤、標準形、促進形、遅延形)などを記入する。
 AE減水剤等の化学混和剤以外の混和剤を使用する場合は、塩化物量が分かるものを添付する。
 (混和剤の種類によっては、塩化物試験に有害イオンとして作用するものがあるので、注意すること。)
 7 コンクリートの圧縮試験回数は、打込工区ごと、打込日ごと、かつ150m³(高強度はJASS—2003, 2009, 2015, 2018及び2022は 300m³に1回で適当な間隔をおいた3台のトラックアジテータから1台につき3個ずつ計9個以上)又はその端数ごとに1回以上とする。
 8 圧送計画は、その4による記号で表示する。
 9 鉄筋の引張試験回数は、200箇所又はその端数ごとに1回以上とする。
 10 圧送ポンプの性能がわかるカタログを添付することで詳細な性能の記入を省略できる。